

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集1 明海大学・朝日大学共催 2024 英語授業改革セミナー
「本気で授業改革！」

12月7日、浦安キャンパスにて「明海大学・朝日大学共催 2024 英語授業改革セミナー」を対面とオンライン配信で開催しました。

明海大学二宮秀生副学長と朝日大学大友克之学長の挨拶の後、第1部の基調講演では東進ハイスクールの英語講師などで活躍されている安河内哲也様に「AI時代の活動型英語授業」と題して生徒を惹きつけ、英語力をつける授業方法について実践を交えてご説明いただきました。受講者から「安河内先生の歯切れの良いテンポ感と分かりやすい解説に引き込まれました」、「生徒に対する接し方や声かけの重要性、そしてこれからの英語教育の方向性について多くの学びを得ることができました」などの感想が寄せられました。



第2部は、朝日大学経営学部・英語教育センター児玉靖明准教授と金森香織准教授から高校における「論理・表現」の指導と評価について、明海大学教職課程センター・地域学校教育センター西貝裕武教授と文京区立茗台中学校田中久美子指導教諭から中学校における「誰もが書けた！」と実感するまでのWritingの指導について、の2つのワークショップを展開しました。

いずれも具体的な事例を交えたワークショップで、受講者からは「根気よく指導し、褒め、見取ることを続けることで確かな生徒の変化があるとのエビデンスを示していただきありがとうございますございました」、「一人一人の生徒の向き合い方について、見通しや長い目で見ると大切さを学ぶことができました」などの声が届きました。第1部・第2部とも「授業こそが教職の魅力」というメッセージが受講者に伝わったセミナーでした。



特集2 明海大学 あけみ英語村 2024

11月12日、浦安キャンパスにおいて、足立区との教育連携事業の一環として「明海大学あけみ英語村 2024～小学生異文化交流プロジェクト～」を開催しました。

足立区立中川東小学校6年生約50人と本学の外国人留学生・日本人学生約75人が参加し、英語を使ったコミュニケーション・アクティビティやイングリッシュ・キャンパスツアーなど、異文化理解や交流を図りました。天候にも恵まれ、キャンパス内にはたくさんの笑顔があふれました。文化や世代を超えた交流は小学生、大学生ともに貴重な経験となりました。

明海大学は、今後も足立区と連携した様々な取組みを通じて、地域学校教育やグローバル人材の育成にも貢献して参ります。



校内寺子屋支援

本学と高大連携協定を結んでいる東京都立葛西南高等学校では、放課後学習の機会として「校内寺子屋」を設置しています。本学の学生が「校内寺子屋」の講師を務め、高校生の英語学習の支援を行っています。

9年目となる今年度は、英米語学科1年生の阿部美鈴さん、大西萌衣さん、佐藤咲綺さん、上原慎平さんが週1回訪問し、生徒の「分からない」という気持ちに寄り添いながら丁寧に指導しています。学生からは、「分からないところを一緒に考えるということをして、話しやすい環境を作り、質問しやすくすることを意識しました」、「生徒が理解するまでサポートし、その進歩と一緒に喜びながら進めることの重要性を感じました」などの感想が届いています。

学習が進むにつれ、生徒の表情も徐々に明るくなり、学生も嬉しさを感じる一方、学習指導の難しさを実感しています。教職課程で学ぼうとする学生にとって意味のある体験となっています。



中学校部活動外部指導員

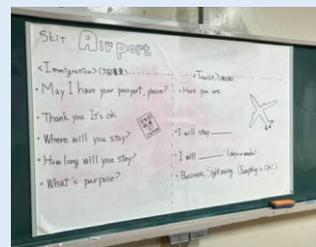
部活動外部指導員は、部活動において顧問と連携・協力しながら、専門的技術指導に対し補助的な役割を果たす外部人材として教育活動の質の向上を図る支援策の一つです。

今年度、江戸川区立篠崎中学校の部活動外部指導員として、英米語学科4年の小川翔太郎さんと吉澤亜門さんが10月から週1回英語部の活動支援にあたっています。

支援開始の初日、学生2人は部員が創作した英語落語の発表を見て、中学生のパフォーマンスのレベルに驚いていました。4月から教員になる学生にとっては、大いに参考になることでしょう。

実際、学生が録画させてもらった英語落語を見たMETTSの教員も、英語だけでなく、内容やジェスチャーとともに完成度の高さに感動していました。

現在では顧問の先生及び部員との信頼関係も築かれ、学生が提案する即興劇 (SKIT) や絵本を使った活動も行いうようになり、英語部で存在感を発揮しています。



学生が考えた活動メニュー

2024年度足立区民対象英会話講座第2クール修了

足立区との連携協定に基づいて実施している足立区民対象英会話講座 (第2クール) の全5回のプログラムが12月8日に修了しました。本学 Patrizia Hayashi 教授と Tyson Rode 准教授の緻密な準備と温かい雰囲気を受講者の主体的な取組を促し、間違いを恐れずに英語を使う空間が自然と生まれる講座でした。

また、学生スタッフの英米語学科4年の富樫美智雄さん、3年の霜方柚奈さん、知念咲花さんも受講者一人一人をサポートして講座を盛り上げてくれました。写真は Closing Ceremony の様子です。受講者は笑顔で修了証と記念品を受け取り、これからも英語学習を継続していこうというメッセージを全員で共有し、拍手をして講座を終えました。



METTS 卒業生のつどい



11月23日、2016年に教職課程センター (METTS) が設立されて以来、教員免許状を取得した卒業生の有志23人が集まり、現旧教員と共に親交を温めました。現役の教師として活躍している方から一般企業に就職したり、公務員になったりしている方までさまざまな卒業生が集いました。

松本優太さん (2017年度英米語学科卒、現君津市立君津中学校教諭) が卒業生代表として、藤井大輔センター長がMETTSを代表してあいさつし、1年目の卒業生の自己紹介や小グループでの近況報告や情報交換などを行いました。

アゴラ活用状況 (人)	
11月	647
2018年からの延べ数	68,456